

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告します)
単元株式数	100株
公告方法	当社のホームページに掲載します。 https://www.nidec.com/jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(URL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

〈注意事項〉 本株主通信には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績およびその他のリスクや不確定要素を含みます。本株主通信に含まれる全ての将来的予測に基づく記載は、株主通信作成時点で入手可能な情報に基づいており、私達は、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。また、この記載は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。

株式に関する住所変更、単元未満株式の買取等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更、単元未満株式の買取等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。



株主通信 第52期

第2四半期のご報告 2024年4月1日 - 2024年9月30日

CONTENTS

- 01 トップメッセージ
- 03 創業者メッセージ
- 05 Focus!
- 07 News@NIDEC
- 09 2024年度 第2四半期(上半期) 連結決算ハイライト
- 11 2024年度 第2四半期(上半期) 製品グループ別業績
- 13 株主優待
- 14 株式・社債情報、会社概要



表紙は私たちの暮らしの中で当社製品が使われていることを表現しています。掲載している製品は、業務用エアコン用ブロワ、エレベータ牽引用モータ、エスカレータ駆動用モータです。

Nidec ロゴは、ニデック㈱の日本国、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
All for dreams ロゴは、ニデック㈱の日本国、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

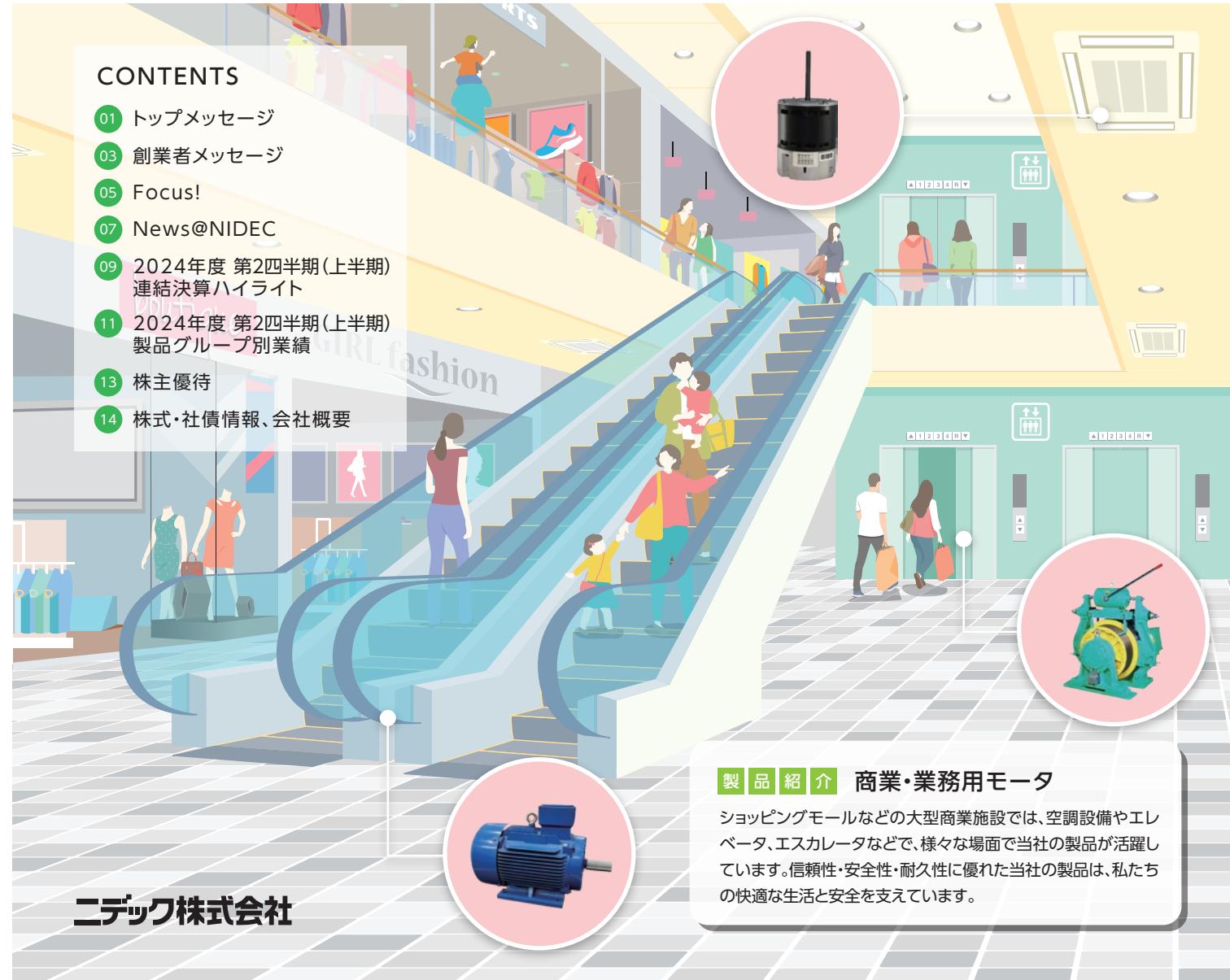


ニデック株式会社

〒601-8205 京都市南区久世殿城町338
TEL. 075-922-1111(代) FAX. 075-935-6101
URL <https://www.nidec.com/jp/>



このパンフレットの印刷には、環境に配慮した植物油を使用した印刷インキを使用しています。



製品紹介 商業・業務用モータ

ショッピングモールなどの大型商業施設では、空調設備やエレベータ、エスカレータなどで、様々な場面で当社の製品が活躍しています。信頼性・安全性・耐久性に優れた当社の製品は、私たちの快適な生活と安全を支えています。

ニデック株式会社



第2創業を成し遂げ、 グローバルな超一流企業へ

2024年度上期の売上高は1兆2,938億円、営業利益は1,210億円となり、いずれも過去最高を更新しました。精密小型モータではHDD用モータの需要回復に加え、急成長しているAIデータセンター向け水冷モジュールなど新分野での売上増加も見られました。車載では、昨年度より収益性最優先へと戦略転換したEVトラクションモータ事業の中国市場において黒字転換を実現し、また、家電・商業・産業用でも収益性改善が進みました。

NIDECグループは世界No.1の総合モータメーカーとして、半世紀以上にわたり「回るもの動くもの」で技術と実績を積み上げてきました。これに加えて、冷却システムなどの「熱マネジメント」や「発電・蓄電・充電・変電」という電気を扱う技術においても豊富なノウハウを蓄えています。これらの強みを活かし、今後ビジネスを拡大していく事業を次の5つの領域、すなわち、①AI社会を支える、②サステナブル・インフラとエネルギーの追求、③産業の生産効率化、④より良い生活の追求 - Better Life、⑤モビリティイノベーションと捉えています。

NIDECグループの製品や技術を通じて、社会のあらゆる課題へソリューションを提供していきます。

当社が100年を超えて成長し続けるグローバルな超一流企業となるためには、事業戦略と同様に組織体制の整備も不可欠です。新体制では、技術力の集結、グローバルな人事体制の確立、そして全従業員のベクトルを合わせるための「パーパス (存在意義)」策定を目的に、それぞれの事柄について新設したコミティで日々議論を重ねています。そして、新経営体制への変化と同じく、NIDECグループの成長を支える企業文化を後世に繋いでいくことも私の重大な使命です。創業者である永守が固めてきたこの基盤の上で、NIDECグループ全従業員が一丸となって更なる成長を遂げていきます。

代表取締役社長執行役員
最高経営責任者
岸田 光哉





新時代の経営者を育てていく

当社は、2023年4月1日に創業50周年を迎え社名を「日本電産株式会社」から「ニデック株式会社」に変更し、次なる100年に向けての新たなスタートを切りました。本年度からは岸田社長（最高経営責任者）をトップとする新しい経営体制が始動しています。

今後、真のグローバル企業を目指して挑戦を続けていくため、新経営体制では「代表取締役グローバルグループ代表」として集団経営体制が順調に進むよう見守っていこうと思います。実際の経営に関しては岸田社長（最高経営責任者）に任せ、創業者として当社が50年を通じて培ってきた企業風土がグループ全体でしっかり受け継がれていくための指導に徹する所存です。今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役グローバルグループ代表
永守 重信

S. Nagomai

創業メンバーとして新体制をサポート

当社は1973年にモータ事業からスタートし、駆動技術を中心に事業領域を広げて参りました。創業以来、私は主に営業の立場からNIDECグループの成長に力を注ぎました。今後も世界10万人超の従業員を始め多くのステークホルダーと接し、後進育成に努め、新経営体制をサポートしていきたい所存です。

当社の成長を語るうえで欠かせないM&Aについては、引き続き永守グローバルグループ代表が指揮を執りますが、NIDECグループに新たに参画する会社と当社経営陣の橋渡しや、企業文化の浸透に私も貢献したいと考えています。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役会長
小部 博志

Hiroshi Kabe



専務執行役員
家電産業事業本部長
車載事業本部既存事業統括
バルター タランザーノ

Q1 ご自身について教えてください。

私は2013年にニデックに入社し、家電用モータを手がけるグループ会社のCEOを務めてきました。2022年には家電産業事業本部長に就任し、2024年10月からは車載事業本部長の既存事業統括も兼務しています。入社以来、自分の担当範囲を広げながらニデックの成長に力を尽くしてきました。

※車載における、EVトラクションモータ以外の製品を扱う

Q2 2つの事業を兼務しているんですね。まずは家電産業事業について教えてください。

家電産業事業本部は家電・商業・産業向けのソリューションを取り扱っており、売上高はNIDECグループ全体の約2割を占める最大級の事業本部です。製品群ごとに、「グローバル・アプライアンス」「USモータ」「C&I」の3つの部門に細分化されます。北米・南米・欧州・中国など世界25カ国以上に生産・販売拠点を構えており、私はそれらの事業所や顧客を訪問するために世界中を飛び回っていることが多いです。

Q3 どんな製品を取り扱っているのですか？

グローバル・アプライアンスは洗濯機や冷蔵庫などの家庭用・商業用機器向けのモータやコンプレッサなどを、USモータは空調機器向けソリューションや工場・プールなどで使用されるポンプなどを、C&Iは商業・産業用のモータや駆動装置などを、それぞれ取り扱っています。これらの製品は、家の中やスーパーマーケットといった身の回りから、農業・工業・交通の現場に至るまで、社会のあらゆる場所で活躍しているんですよ。



家電産業事業本部長の拠点は世界中に存在し、従業員数は18,000人以上。4000以上の顧客とビジネスを展開



家電産業事業本部長の製品は様々な領域で活躍

Q4 活躍の場が広いんですね。続いて車載既存事業についても聞きたいのですが、なぜ兼務することになったのですか？

現在の車載既存事業を取り巻く競争環境は、特に欧州・北米を中心にとっても激しいものとなっています。この競争を勝ち抜くためには、より迅速に意思決定を行う体制の整備が不可欠です。家電産業事業本部では、各部門を束ねる中枢機能を通じて効果的に支援する体制が整っており、この仕組みこそが成長の鍵になったと考えています。今後、車載既存事業もこの体制の中に統合し、家電産業事業での手法を活用してビジネスを強化していくことになりました。

Q5 統合ですか!どのように進めていくのでしょうか？

まずはオペレーション・部品調達・物流などの分野で統合を進め、連携を深めていきます。私自身は車載既存事業に深くコミットし、工場訪問などを通して現状の課題や機会に対する理解を深め、特に欧州・北米におけるビジネスの強化を密接にサポートしていきます。「ONE NIDEC」の考え方に基づき、事業の壁を越えた取り組みを進めたいと考えています。

Q6 最後に、今後の抱負を。

今後の成長に向けてはイノベーションが不可欠です。私たちはイノベーションを通して技術面での差別化やコスト削減を進め、部品メーカーからソリューションプロバイダーへの変革を遂げていきます。また、さらなる成長を求めてインド市場やアフリカ市場への進出も見据えています。従業員・顧客・サプライヤーと協力した持続可能な成長で、NIDECグループが掲げる2030年度売上高10兆円という壮大な目標の達成に貢献していきます。

News@NIDEC

Topic 「ニデック京都タワー」命名権取得&地域向けイベント開催!



当社は、京都タワー（京都市下京区）を運営する京阪ホテルズ&リゾート株式会社とネーミングライツ契約を締結し、同施設は2024年4月1日より「ニデック京都タワー（Nidec Kyoto Tower）」として営業が開始されました。あわせて地域の皆さまを対象とする下記イベントを開催しています!

ニデック DAY

抽選で100組、200名様をニデック京都タワー展望室にご招待!

ニデックスクール

京都府の小学生を対象にモータづくり体験教室を実施!



ニデックスクールの様子



Topic 1株→2株の株式分割を実施!

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。これは2020年4月以来の分割です。分割により1単元あたりの金額を引き下げることで、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大が期待できます。

Topic

「統合報告書2023」が日興リサーチセンター「Integrated Report Award」にてベストプラクティス賞を受賞!



昨年度発行の「統合報告書2023」に対し、外部評価機関より「経営者によるキーメッセージ」と「ビジネスモデル」の2項目で最高のA評価を、さらに他の3項目以上でB評価をいただきました。特に、価値創造のプロセスや競争優位性を十分に把握できた、また、トップメッセージは経営者の想いや人柄が伝わる内容であったとの評価をいただいております。

最新号となる「統合報告書2024」は、新経営体制に基づく更なる成長への出発と、これまでの当社の発展を支えてきたNIDECイズムの継承を主なテーマとしています。新社長・岸田による事業戦略の方向性や新たな経営体制の説明に加え、財務戦略や人事戦略、リスクマネジメントの考え方など企業価値の向上に関わる取り組み、マテリアリティ対応の進捗などをまとめています。本書を通じ、100年を超えて成長し続けるグローバルな「超一流」企業になるための当社の成長戦略と価値創造力をご理解いただければ幸いです。



統合報告書2024はこちら



Topic

「永守重信創業記念館」の設立決定!



完成イメージ図

これまで歩んできた歴史と創業者・永守重信の経営理念を学び、継承することを目的とした「永守重信創業記念館」の設立を決定しました。永守が生まれ育った京都府向日市に建設、2027年11月に一般公開予定です。「金なし、経験なし、知名度無し」でスタートした当社は、創業直後のオイルショックやその後のリーマンショック、タイ洪水など幾多の苦難を乗り越え、現在連結売上高2兆円を超えるグローバル企業に成長いたしました。これまでの歴史や世の中において果たしてきた役割、永守の経営者としての足跡を、安藤忠雄氏デザインによるダイナミックな建築空間の中に展示いたします。

2024年度 第2四半期累計(上半期) 連結決算ハイライト

2024年度
第2四半期累計
(上半期)



POINT

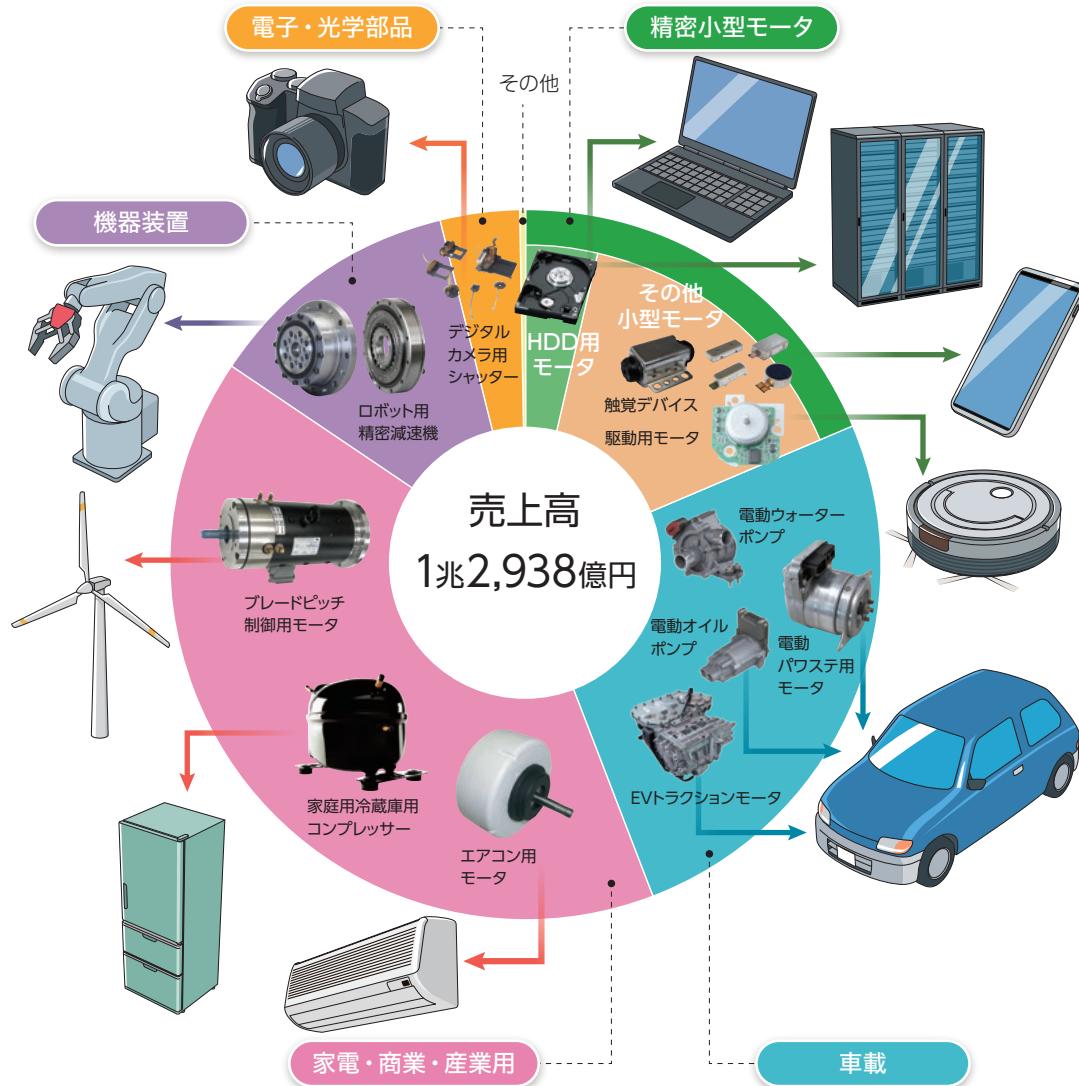
- 売上高
上半期過去最高を更新。「精密小型モータ」、「車載」、「家電・商業・産業用」、「機器装置」、「電子・光学部品」の製品グループで増収。
- 営業利益、当期利益
営業利益は上半期過去最高を更新。収益性の高い事業ポートフォリオへの転換や、ニデックPSAイモーターズの連結子会社化に伴う段階取得に係る差益計上などが増益の要因。当期利益は急速な円高が進行したことによる為替差損が影響し、前年同期比減益。
- 配当金
上半期末配当金は前年度から2.5円増配の20円。期末配当金(予想)も20円とし、2024年度の年間配当金は40円を予定。



※2022年度の当期利益につき、上半期は806億円を計上しておりましたが、下半期にて436億円の損失を計上したため、当期の通期利益370億円のみを表記しております。

※2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、2020年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「1株当たり当期利益」および「1株当たり配当金」を算定しております。

2024年度 第2四半期累計(上半期) 製品グループ別業績



精密小型モータ

売上高構成比 **19%**

項目	2023年度上半期 (億円)	2024年度上半期 (億円)
売上高	2,041	2,426
営業利益	167	291

売上高 19%増収

- + ニアライン向けHDD用モータ等の増収
- + 水冷モジュール事業の量産化

営業利益 74%増益

- + 増収効果
- + 製品構成の良化

● パソコンやデータセンターで使われるHDD用モータを取り扱っています。

● その他小型モータにはスマホ・携帯電話に使われる触覚デバイスに加え、OA機器用モータやファンモータ、水冷モジュールを含む熱処理用部品などがあります。

車載

売上高構成比 **26%**

項目	2023年度上半期 (億円)	2024年度上半期 (億円)
売上高	2,822	3,308
営業利益	164	201

売上高 17%増収

- + クルマの電動化需要の取り込みによる増収
- + ニテックPSAイーモーターズの連結子会社化

営業利益 23%増益

- + EVTラクションモータ事業における黒字化計画の遂行
- + ニテックPSAイーモーターズの連結子会社化による段階取得に係る差益の計上

● 車載では、世界トップシェアである電動パワステ用モータに加え、ブレーキ用モータ、EVTラクションモータ、そしてポンプや先進運転支援システム(ADAS)向けセンサなどがあります。

家電・商業・産業用

売上高構成比 **40%**

項目	2023年度上半期 (億円)	2024年度上半期 (億円)
売上高	4,797	5,201
営業利益	586	583

売上高 8%増収

- + 発電機及びバッテリーエネルギー貯蔵システム(BESS)の増収
- + 為替の影響

営業利益 1%減益

- 構造改革費用の計上

● 家電・商業・産業用では洗濯機やエアコンをはじめとする家電製品向けのモータや、エレベータ用モータなどの商業用モータ、そして船舶用モータなどの産業用モータを取り扱っています。

機器装置

売上高構成比 **12%**

項目	2023年度上半期 (億円)	2024年度上半期 (億円)
売上高	1,463	1,535
営業利益	233	168

売上高 5%増収

- + 液晶ガラス基板搬送用ロボットの増収
- + 為替の影響

営業利益 28%減益

- 半導体検査装置の減収
- 工作機械関連各社の生産体制集約等に伴う費用計上

● 液晶ガラス基板搬送用ロボット、現金自動預け払い機(ATM)などに使用されるカードリーダーなどを使用されるカードリーダー用モータなどの商業用モータ、そして船舶用モータなどの産業用モータを取り扱っています。

電子・光学部品

売上高構成比 **3%**

項目	2023年度上半期 (億円)	2024年度上半期 (億円)
売上高	430	450
営業利益	78	64

売上高 5%増収

- + 為替の影響

営業利益 19%減益

● 産業用電子機器に搭載されるスイッチ、トリマ、センサなどの電子部品と、デジタルカメラおよびスマホ・携帯電話に搭載されるカメラ用シャッター、手振れ補正装置などの光学部品が主力製品です。

株主優待に関するお知らせ

株主の皆さまにおかれましては、弊社及びグループ会社を日頃より応援いただき、誠にありがとうございます。2024年3月末株主優待に関しまして、本年も大変多くの株主様にご応募いただき、改めて感謝申し上げます。今後も当社グループの事業活動及び製品への理解を深めていただきたいと思います。

1 豪華“オルゴール”抽選贈呈（応募終了）結果について

厳正なる抽選の結果、当選された110名様へは、当選ご通知とともにすでに商品をお届けしております。

対象 長期保有株主様
(株式保有期間3年以上且つ単元株以上)

応募総数 2,247名

株式保有期間	優待内容	当選人数
10年以上※	①オルフェウス (7.5万~9万円相当) 「上質な質感のメープル材を使用しオルゴール本来の良さを活かしたシンプルなデザインと50弁の多彩な音色が特徴の、スクエア型オルフェウス」	抽選で10名様
3年以上	②5千円相当のオルゴール 「蝶の柄が愛らしい、ベっ甲塗り宝石箱オルゴール (色：黒、曲目：星に願いを)」	抽選で100名様

※10年以上保有の株主様は、上記①か②のいずれか選択が可能です。オルフェウス当選者は希望の色味・曲目にて個別制作いたしました。

本企画は来年も予定しており、その際には奮ってのご応募をお待ちしております。

①株式保有期間10年以上※



②株式保有期間3年以上



2 【NIDECグループ】グリーンサンホテルについて

弊社グループ会社「グリーンサンホテル (ホテル事業)」についてご紹介します。グリーンサンホテルは、長野県諏訪 (JR中央線「下諏訪駅」徒歩1分) に位置しています。また、「ニデックオルゴール記念館すわのね」まで徒歩10分、諏訪大社や諏訪湖まで徒歩15分、下諏訪温泉まで徒歩5分~の好立地にあり、皆さまの観光・ビジネス等、シーンに合わせてご利用いただけます。長野県へお越しの際には是非ともゆっくりと素敵な時間をお過ごしください。

*グリーンサンホテルは2024年12月以降2025年3月末まで、順次改装工事を予定しております。そのため臨時休館となる日もございますので、ご利用の際はグリーンサンホテルのホームページ、またはお電話にてご確認ください。ご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。



株式・社債情報 2024年9月30日現在

株式の状況

発行済株式総数 596,284,468株 第2四半期末株主数 175,091名

(注) 2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、同日付で発行済株式の総数は1,192,568,936株となっております。

大株主の状況

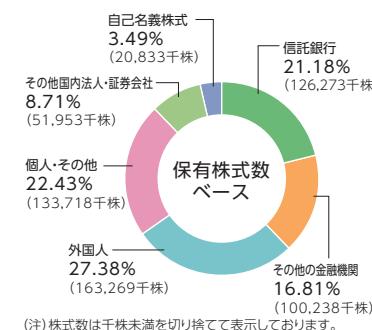
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	78,157	13.58%
永守 重信	49,474	8.59%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	30,392	5.28%
株式会社京都銀行	24,798	4.30%
エスエヌ興産合同会社	20,245	3.51%
株式会社三菱UFJ銀行	14,851	2.58%
日本生命保険相互会社	13,159	2.28%
明治安田生命保険相互会社	12,804	2.22%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	10,993	1.91%
株式会社滋賀銀行	8,821	1.53%

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式 20,833,228 株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお自己株式には役員報酬 BIP 信託及び株式付与 ESOB 信託の所有する当社株式を含めておりません。

社債の状況

銘柄	発行日	額面総額	利率	未償還残高	償還期限
第10回無担保社債 (グリーンボンド)	2019年11月28日	300億円	年0.090%	300億円	2024年11月28日
第11回無担保社債 (グリーンボンド)	2019年11月28日	200億円	年0.150%	200億円	2026年11月27日
ユーロ建無担保普通社債 (グリーンボンド)	2021年 3月30日	5億ユーロ	年0.046%	5億ユーロ	2026年 3月30日
第13回無担保社債	2022年 7月12日	300億円	年0.250%	300億円	2025年 7月11日
第14回無担保社債	2022年 7月12日	200億円	年0.549%	200億円	2032年 7月12日
第15回無担保社債	2022年11月24日	200億円	年0.250%	200億円	2025年11月21日
第16回無担保社債	2022年11月24日	500億円	年0.440%	500億円	2027年11月24日

株式保有者別分布状況



株価・出来高の推移



会社概要 2024年9月30日現在

商号 ニデック株式会社
本社 京都市南区久世殿町338
設立 1973年7月23日
上場証券取引所 東京
証券コード 6594
資本金 877億84万円
従業員数 連結 106,154名
URL <https://www.nidec.com/jp/>

役員 2024年11月1日現在

代表取締役
グローバルグループ代表
(取締役会議長) 永守 重信
代表取締役社長執行役員 岸田 光哉
取締役会長 小部 博志
取締役 (常勤監査等委員) 村上 裕也
取締役 (常勤監査等委員) 落合 裕之
社外取締役 佐藤 慎一
社外取締役 小松 弥生
社外取締役 酒井 貴子
社外取締役 (監査等委員) 山田 文
社外取締役 (監査等委員) 豊島 ひろ江
社外取締役 (監査等委員) 梅田 邦夫
副社長執行役員 北尾 宣久
副社長執行役員 西本 達也
専務執行役員 マイケル ブリッス
専務執行役員 バルター タランザーノ
専務執行役員 荒木 隆光
専務執行役員 戒田 理夫
常務執行役員 五十嵐 一嗣
常務執行役員 佐村 彰宣
常務執行役員 牛尾 文昭
常務執行役員 高橋 亨
常務執行役員 大村 隆司
執行役員 岸本 貴志
執行役員 宮本 栄治
執行役員 藤田 啓之
執行役員 中川 一夫
執行役員 岸本 真
執行役員 蘇理 修一郎
執行役員 瀬田 智則
執行役員 田中 裕司
執行役員 豊嶋 直穂子
執行役員 頼原 謙